

CURES Salon

イスラエルの言葉

野村（中沢）真理

初めにジョークをひとつ。

「イスラエルの第2言語は何？」

「ヘブライ語さ。」

このジョークは、事情を知らない人にはおもしろくもおかしくもないだろう。イスラエルの公用語はヘブライ語とアラブ語の2言語である。ところが1980年代後半に始まる旧ソ連からの大量移民で、いまやロシア語人口

はイスラエルの総人口の約1割に達した。ジョークは、今のイスラエルでロシア語の氾濫を皮肉ったものだ。実際エルサレムで暮らした1年のあいだに私がよく利用したスーパーでは、従業員のほとんど全員がロシア語使用者で、つられてこちらも「スバシーボ（ありがとう）」などと返事をしてしまった。

現在のイスラエルの国語がヘブライ語に落ちつくまでには、それなりの実験と混乱があった。古代パレスティナのユダヤ人が使用していたヘブライ語は紀元200年頃に話し言葉



▲エルサレムのオリーブ山からの遠望。手前は神殿の丘で、右手が岩のドーム、左手がエル阿克サ・モスク。後方はエルサレムの新市街。

としての機能をほぼ失い、ユダヤ教の典礼用語としてのみ伝えられた。離散後のユダヤ人の話し言葉は、それぞれの離散地の言語に同化するか、あるいは離散地の言語にヘブライ語やアラム語の要素を融合させ、さまざまな「ユダヤ語」を生み出した。中高ドイツ語を土台とするイディッシュ語はその典型である。ショーレム・アレイヘムの『屋根の上のヴァイオリン弾き』の言葉だといえば、わかりやすいかもしれない。

ドイツのユダヤ人は18世紀末にユダヤ人解

放が始まるとドイツ語に同化した。東欧やロシアでは20世紀に入ってからイディッシュ語がユダヤ人の日常用語であった。ホロコーストでポーランドのユダヤ人社会が絶滅させられる直前で、イディッシュ語人口は推定1千万人以上。19世紀末に始まったパレスティナ移民の中核を形成したのも、これらイディッシュ語を話す地域のユダヤ人たちである。

それではイディッシュ語がイスラエルの国語に昇格するのが自然だと思われるだろうが、そうはならなかった。シオニストによれば、イディッシュ語はユダヤ人の流浪と差別のゆえに生まれたいびつな言語であった。抑圧されたゲットーの言葉はユダヤ人国家にふさわしい国語ではない、というのである。そこで1881年パレスティナにわたり、古代のヘブライ語を現代に通用する言語として復活させる実験に執念を燃やしたのがベン・イェフダであった。実験台となった彼の子供が、現代ヘブライ語を母語とするユダヤ人の第1号となる。

ベン・イェフダの執念が実り、ヘブライ語は独立イスラエルの国語となるが、それは「学びとられる国語」であった。現在のイスラエルには新移民のためにウルバンというヘブライ語の集中講座が開設され、そこでまじめに学習すれば半年後にはほぼ日常会話がこなせるようになるという。こうしてヘブライ語は移民たちにとって第2の母語となるのだが、現代ヘブライ語誕生の経緯からも、新移民のさまざまな言語が氾濫する現状からも、この国の人々は国語を相対化する寛容性を身につけているようだ。イスラエルには数カ国語を操る人はそこらじゅうにおり、相手がヘブライ語ができないとみると気安く言葉を取り替えてくれる。外国人にはありがたかった。

国際化とはかくあるべし、と私も奮起したいところだが、いまだにひとつの外国語もものにならない。そうこう言っているうちに村上春樹氏の「やがて哀しき外国語」の心境か。(金沢大学経済学部教授、今年3月までの1年間エルサレムに滞在)

地域経済文献情報

Miyamoto, Kazuaki ; Sathyaprasad, Sathindra An
Estimation System of Urban Land - Use and
the Environment for Metropolitan Areas in
Developing Countries -- With Emphasis on
Pollutant Emissions from Non-Industrial Land
Uses (地域学研究, 25(1), 1995, 17-29)

Nagata, Yoshikatsu Mapping the Village Database--
The Spread of Economic Growth to Rural Area
of Northeast Thailand (東南ア研究(京大), 33(4), 1996, 138-156)

SERI まんすりー編集部, 外資系企業の立地と地域振興――
進出企業の活力をいかに地域に取り込むか (SE
RI まんすりー, 395, 1996, 2-9)

Shibusawa, Hiroyuki; Higano Yoshiro Equilibrium vs.
Optimum in the Closed City with Home and
Office Work--Agglomeration Economies and
Diseconomies (地域学研究, 25(1), 1995, 31-43)

Takahashi, Takaaki Role of Urban System in
Industrialization--The Case of Europe (社会科
学紀要(東大), 45, 1996, 77-95)